

9～10月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

88,094円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷)	14,910円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	24,858円
通信費(携帯電話代、折込代)	48,326円
支出計 12/9/3～12/10/30	88,094円
寄付	
Yさん、Mさん	8,000円

市政を考える

月刊武松

発行日

12/10/31

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

武松政策研究会

第130号

16500部発行

ペDESTリアンデッキに必要なもの!!

延長し、確かな歩行者動線の確保を!!

地下街の再生ばかりが注目されていますが、来春のベルジュの営業終了と取壊し後の新規建物へのペDESTリアンデッキ(以降デッキ)の延長などを具体的に考えていかなければなりません。

■地下街だけに投資が必要なわけではない

今、駅周辺では、若手経営者を中心に、朝市などが、活発に開催されています。マルシェも当初は、地下街で開催していましたが、現在は、地下街以外の開催が主となっています。

私は、地下街の集客力が厳しいと見ています。安価で再開できるのであれば、そうすべきだと思いますが、再開までに約15億円、その後約10億円の投資が必要です。更にデッキ延長を加えれば、東口駅前周辺の投資が約30億円にもなります。

■歩行者動線確保のために

まず、デッキに何が必要かを考えてみます。

①ベルジュ跡新規建物へのデッキの延長

②駅前ビル(旧丸井)側へのデッキの延長

③デッキ延長部分の連結

④地上部への階段やエスカレータ設置

②の駅前ビルの建替えは、具体化していないようですが、耐震や設備の老朽化など中期的には、建替えがあると見込み、デッキの延長を検討しておく必要があります。

なお、現在のデッキの建設費用は、約13億円でした。①～④を実施するには、少なくとも数億円は必要と見込んでいます。

■地下街を閉鎖し、全自動駐輪場を設置したら

地下街を閉鎖し、階段や囲いを撤去すると、駅側デッキ下は、地上部が開けた広場になります。そこに地下全自動駐輪場を設置すれば、600台程度は駐輪可能となります。

他市の例から、私が見積もったところ、

- ・埋設、地上部階段や囲いの撤去： 約5～6億円
- ・地下式全自動駐輪場(600台)： 約4～5億円

年間維持費

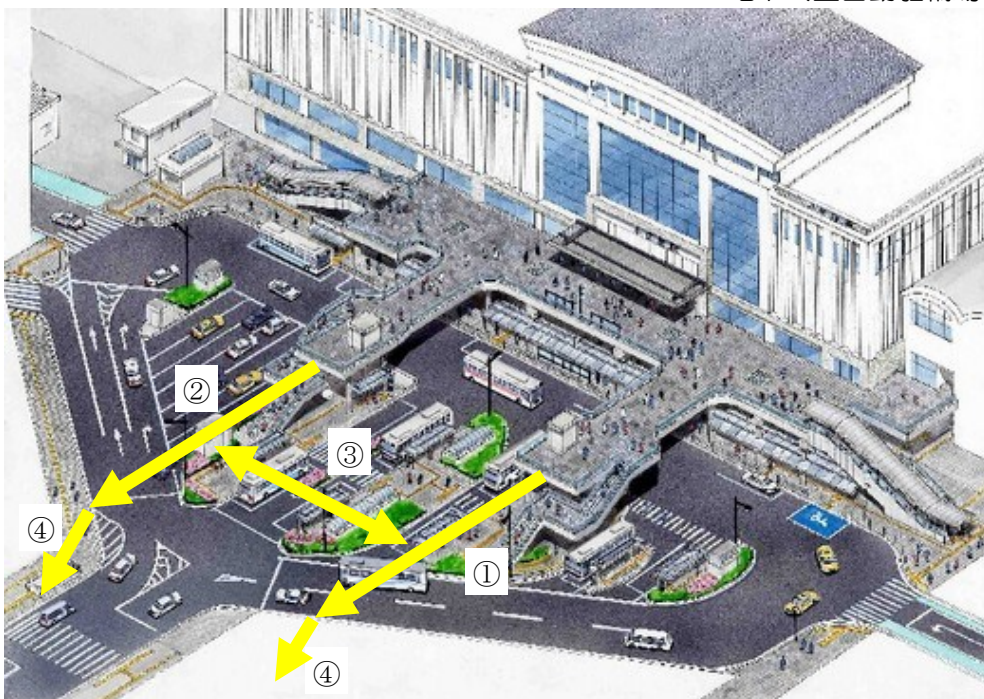
：500～1000万円

年間維持費はともかくとして、初期投資が約10億円です。デッキの延長を含めて約15億円で、これは地下街再生の半分の費用で済みます。

この案により、駅を使う歩行者が便利になり、駐輪場不足や、駐輪禁止区域への駐輪を抑制することができます。

なお、あくまでも私案ですのでご承知おき下さい。

←図1 小田原駅東口ペDESTリアンデッキ



The Voice 地下街ご意見特集

地下街は自動駐輪施設に 70代 男性

小田原地下街の活用方法は、地下の埋め立てなどに無駄な費用を投資することなく、大都市の一部にあるような自動駐輪施設投資による活用が賢明の策かと思われます。ひいてはこれが、小田原駅前の地域活性化の道につながる事なのです。

駅前を活性化するために 60代 男性 (頂いたご意見を抜粋、編集しています。)

- ・駅前が廃れていって町全体のイメージを落とす。そこが活性化することは、とても重要なこと。
- ・再生化に先立って商業を中心に地下街の再生化計画を立てるとするのは基本的に正しい。

再生計画案について

- ・パワーテナントを誘致して無理やりに、小田原の商品を売るというような土産物屋でもない訳の分からない施設にしてしまっただけでは確実にいつか来た道で失敗する。
- ・地下街のスペースは大騒ぎするほど大きなスペースではない。したがって何をやるにしても中途半端になる可能性がある。また案内所を作っても、どれだけの人が利用するか知れている。
- ・予算の件では総予算25億の中身が公共通路と商業施設が、一まとめのため非常にわかりにくい。
- ・開発経緯も会議体は経ているものの会議参加者の同意には至っていない。
- ・再生計画のコンセプトも市なのか民間なのかわかりづらくなっている。

地下街の在り方

- ・小田原駅は鉄道5路線の駅で、バスのターミナルでもある。これを最大限活用して市民が商業を通じて学んだり楽しんだりする場所が有効。
- ・小田原の商業の中心的な場所としてさまざまな情報の発信機能を持たせる場所として有効に使う。
- ・「きざしに」のようなスペースを作るとか、中学生の職業体験の場所に活用する。
- ・様々な年代の市民が機能的に集まってくるソフトを盛り込んだ場所にする。
- ・商業中心地としては、特に情報発信として小田原の名産や名店を無理やり集めるのではなく地下街発でその場所に行ける(行きやすくする)機能を揃える。
- ・それぞれの商店街が地域の役割として10年後住みやすい街づくりを目指していける勉強会を行う。
- ・市民が駅前に集まれる「必然性」と「整合性」を持った場所にする。
- ・当然予算との整合性も見なければならぬが、考え方さえしっかりしていれば中途半端な売り上げ予算を立てて、成功だ失敗だと騒ぐことの方が無意味だと思う。

最近、駅頭配布や歩いているときに、声をかけられて言われることは、地下街についてです。「地下街は、やめた方がいい。」「全自動の駐輪場にしてほしい。」「若手の地元商業者が、やる気になってきた。」など、今まで積極的に声をかけてくれなかった方も、あえて意見していただいています。特に、ベルジュが2013年3月末日をもって営業を終了すると発表されから、多くなりました。ベルジュの今後については、既存建物を取壊した後、新規施設を建設する予定となっています。要は建替えなんです。営業を終了⇒店舗撤退⇒小田原駅前衰退と認識している方も多くて驚きました。

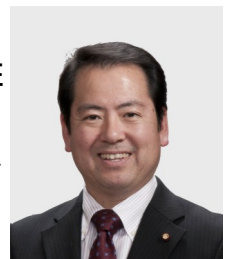
さて12月議会に、地下街関連の補正予算が提出されるか、まだわかりませんが、調査委託した結果を楽しみにしています。

私の考えは、地下街は閉鎖し、階段地上部等もすべて撤去し、全自動駐輪施設を設置する。ペデストリアンデッキをベルジュ側に接続させ、デッキを連結させるというものです。

武松政策研究会からのお知らせ

11月の勉強会と12月の月刊武松の発行配布は、衆院選の公示期間と重なる可能性が高いため、発行配布を中止します。

懇親会だけ開催しますので、11/24(土)18時に、小田原駅東口アークロード階段下に集合願います。(実費割り勘です。)



HPIは、**YAHOO!**で「たけまつただし」 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ

さがみ信用金庫 大井町支店出張所 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで
月刊武松は**本人が配布**しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただくと幸いです。また、**eメールでも送付していますので連絡下さい。**